

# 農地・水・環境保全向上対策

## 伊勢管内事例発表会が開催されました



三重県伊勢農林水産商工環境事務所 油谷所長 挨拶

平成22年8月3日に伊勢市御菌町のハートプラザみそのにおいて、伊勢志摩地区（伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者など、100名余りが参加して「平成22年度農地・水・環境保全向上対策伊勢管内事例発表会」が開催されました。

この事例説明会は、各活動組織相互の情報交換や意見交換を通じて、各活動組織が地域における農地保全活動や環境活動の質的向上を図り、地域振興に一層活発に取り組んでいただくことを目的として昨年に引き続き開催されました。

主催者である三重県伊勢農林水産商工環境事務所の油谷敬朗所長の挨拶に続き、政策部「美し国おこし・三重」福田推進特命監が「美し国おこし・三重」の取り組み内容を説明、続いて三重県農業基盤室野村主幹が本年度に体制整備構想（案）を提出する必要がある平成20年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織に対し作成方法を説明、最後に水土里ネットみえ指導情報課庄村課長補佐から共同活動支援交付金に係る報告書等の記入方法についての注意点について説明がありました。

その後、伊勢志摩地区の4つの活動組織よりそれぞれの

取り組みについて発表がありました。

### ①かづら地水会（度会町）

農業者の高齢化に伴う休耕田の増加や耕作放棄地の荒廃の防止、休耕田対策としてレンゲの植栽、用水路の沈下対策として用水路の嵩上げ補修、獣害対策として猪害用の電気柵の設置、池干しによる外来種駆除

### ②蚊野水と緑を守る会（玉城町）

開水路の泥上げ、水路側壁のはみだし修正、開水路の目地補修、農用地の法面補修と法面にカバープランツの植栽、コスモスの植栽、生態系保全のための生き物調査、生活排水路の浄化を目的とした水質保全のためのEMダンゴの投入

### ③原農水環境を守る会（玉城町）

農事部会と環境部会の2つで運営  
3年間で排水路改修（底張、柵板補修）を16ヶ所、農道整備（草刈、敷き砂利、コンクリート打設）を8ヶ所  
休耕田を利用したコスモスの植栽、ホテル観察会、環境部会だよりの発刊、国東川環境調査、生き物観察会、環境学習会、ビオトープづくり調査・アンケート、体制整備構想（案）の作成に当たって住民のアンケート調査を実施

### ④津村地区農地・水・環境保全会（伊勢市）

ジャンボかぼちゃ大会、農業用水の地域用水としての利用管理、遊休農地への草花の植栽、啓発・普及のための看板の設置（花開道）、ゲート類の保守管理のため池干しを行い、併せて外来種の駆除を実施

事例発表の最後に、津村地区農地・水・環境保全会の樋口書記より「このような美しい自然や環境を子や孫の代まで引き継いでいくためにも、このような素晴らしい事業を継続していきたいと思っているのでこの制度が続くようお願いしたい」との意見があり、この事例発表会は盛会に閉会しました。

## 南家城資源保全向上護る会が協力 家城小学校で稲刈り体験

去る9月13日（月）に津市立家城小学校の5年生7人が、地域ぐるみで農地・水を守っている南家城資源保全向上護る会（松森代表）の協力のもと稲刈りを行った。

稲刈りは総合学習（もち米作り）の一環として行われているもので、春に田植えを体験し、日常管理は同会のメンバーが協力し、稲穂もたわわに実った今回稲刈りと脱穀体験となった。

当日、同会の松森代表の挨拶、そして鎌の使い方の説明



南家城資源保全向上護る会（松森代表）の挨拶



稲刈りの協力を仰ぐ子ども

### 脱穀に協力する子どもたち

後、事前にメンバーが子どもたちに刈りやすいように環境を整えた田んぼで、一斉に稲刈りを始めた。子どもたちは手で握れる程度を把にし、根元から鎌で刈り取っていた。始めはうまく切れずに悪戦苦闘していたが、メンバーから鎌の使い方を手取り教えてもらい、徐々にうまく刈り取ることができるようになり、満足している子どももいた。その後、把にまとめられた稲をコンバインにより脱穀し、そして脱穀した粃が保管されたタンクを我先にとのぞき込んでいた。今後、収穫されたもち米で餅つきをし、食べる予定である。

また、同会の協力のもと、子どもたちへの農業文化の継承として、わらを利用したワラジなどの生活道具を作る予定である。

松森代表は「子どもたちと交流ができ、また大人になり地



脱穀した粃をのぞき込む子どもたち

域を離れても、ここで稲刈りをしたことを思い出として残してくれるようにしてほしい。」と夢を見るような表情で話していた。